



2018事業年度環境経営レポート

(対象期間：2018年7月1日～2019年6月30日)



®環境省

エコアクション21

認証番号 0001122

発行日： 2019/8/23

■ 計画の策定

(1) 組織の概要

事業所名及び代表者
株式会社コトブキパック
代表取締役会長 下澤 壽重

所在地
本社工場 長野県松本市庄内2丁目7番10号
西南工場 長野県松本市大字今井字松本道7089-3
東京営業所 東京都新宿区馬場下町14番地 翔ビル
物流センター 東京都東村山市恩多町1-13-2 LOG-POAT102 4F

環境管理責任者及び担当者連絡先
責任者 本社工場長 上條 祐輔
担当者 製造部長 坪田 孝史
連絡先 TEL 0263-25-3207 E-mail k-001@lily.ocn.ne.jp

事業活動の概要
紙製緩衝材・ダンボール・紙器・包装材の設計、製造、販売

事業の規模
主要製品生産量
製品出荷額

	本社及び本社工場	西南工場	東京営業所	物流センター
従業員	27人	14人	1人	10人
延べ床面積	1080m ²	1039m ²	103m ²	610m ²

(2) 対象範囲

認証・登録範囲
本社工場 西南工場 東京営業所 物流センター (全組織・全活動)

レポートの対象期間
2018年7月1日から2019年6月30日

発行日
2019年8月23日

(3) 環境経営方針

～お客様の笑顔が見たい～

これが当社の基本です。

お客様に喜んでいただける製品を提供していくための努力と共に、
豊かな地球環境を次世代へ継承していけるよう努めてまいります。

株式会社 コトブキパック
代表取締役 下澤 壽重

<環境理念>

株式会社コトブキパックは、段ボール製パレット、紙製緩衝製品、段ボール製品、紙器等の事業活動・製品・サービスを通じて、豊かな地球環境を次世代へ継承することを責務と認識し、地球環境保全と循環型社会の構築を目指した事業活動を行います。

<行動指針>

1. 環境関連諸法規、条例及び、その他の要求事項を遵守するとともに、環境負荷の低減に取り組みます。
2. 電力、水資源、化石燃料の使用削減と省資源活動を積極的に取り組みます。
3. 製品の設計、開発、生産の過程において、廃棄物の排出量削減と3Rに努めます。
4. グリーン購入を積極的に推進します。
5. 環境教育や日常の環境意識の向上を図り、製品やサービスの質の向上に努めます。
6. 社内及び、周辺地域との融和を図り、環境活動を通じて、地域社会との共存を図ります。
7. 環境経営目標を定期的に見直し、継続的な環境改善活動を展開します。
8. 環境経営方針及び、環境保全活動の状況は、全従業員に周知すると共に、

制定日： 2019年5月8日

代表取締役会 下澤 壽重

(4) 環境経営目標

	項目	責任部門 責任者	単位	2018事業年度	2019事業年度	2020事業年度
省 炭 素 排 出 量 削 減	電力使用による二酸化炭素排出量の削減	工場・事務所 上條工場長 藤牧工場長	kg-CO ²	51787	51526	51370
	原単位目標			110	109.4	109.1
	(kg-CO ² 排出係数は中部電力2016年度0.480を採用する)					
削 減 化	車両燃料使用による二酸化炭素排出量削減	各運転手 沖	kg-CO ²	32761	32597	32498
	灯油・プロパンガス使用の二酸化炭素排出量削減	工場・事務所 唐沢・上條・樋本	kg-CO ²	16441	16359	16309
廃 棄 物 の 削 減	事業系一般廃棄物 事務所内廃棄物	総務部・工場 山中・坪田・樋本	kg	注視・測定	注視・測定	注視・測定
	産業廃棄物	工場 唐沢・樋本	kg	注視・測定	注視・測定	注視・測定
節 水	水使用量削減	工場 宮本・樋本	m ³	446	443	441
	事務用品のグリーン購入	総務部 市川	%	積極的購入	積極的購入	積極的購入
	製品への環境配慮	工場 上條工場長・清沢 藤牧工場長	件	15	15	16

(5) 環境経営計画

<p>電力使用による二酸化炭素排出量の削減</p> <p>目標値 51,787 kg-CO²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内不在時消灯 ・昼休憩時消灯 ・使用外のIT機器の電源OFF ・冷房温度28℃設定 ・暖房温度20℃設定 ・冷房時の扇風機使用 ・エアコンフィルター清掃 ・機械のアイドルストップ
<p>車両燃料使用による二酸化炭素排出量の削減</p> <p>目標値 32,761 kg-CO²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイドルストップ ・法定速度厳守 ・1way輸送を無くす ・急発進、急停車を控える ・タイヤの空気圧適正管理
<p>事業系一般廃棄物、事務所内廃棄物の削減</p> <p>目標値 注視測定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物再利用 ・コピー紙裏紙使用 ・廃棄物分別徹底 ・ダンボール、白上質紙100%リサイクル ・製品端材をコピー用紙やメモ紙に使用
<p>産業廃棄物の削減</p> <p>目標値 注視・測定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別の徹底 ・資材の再利用、リサイクル化 ・マニフェストの管理徹底
<p>節水</p> <p>目標値 446 m³</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水の呼びかけ ・水資源の有効活用

(5) 環境経営計画

グリーン購入		
目標値	積極的購入	
・グリーン製品の積極的購入		
製品への環境配慮		
目標値	15 件	
省エネ商品販売	・再生資源の積極的利用	・材料端材の活用
作業時のエコ活動		
・作業手順見直し	・作業時間短縮	・5Sの徹底から作業効率を上げる
・社員教育		
社会貢献		
・月1回の社内外のクリーン活動(ゴミ拾い、草取り、雪かきなど)		



社内外のクリーン活動の様子

■ 取組状況の確認及び評価 (Check)

(7) 環境経営目標の実績

		2018事業年度実績	目標	評価コメント
電力の二酸化炭素 排出量の削減	購入電力	98,302kwh	107,889kwh	本社・西南の全照明LED化 で電気使用量が下がった
	kg-CO ²	47,185	51,787	
化石燃料の二酸化炭素 排出量削減	ガソリン	2558ℓ	3,140ℓ	配送効率が良くなっている
	軽油	8957ℓ	9,705ℓ	配送効率が良くなっている
	灯油	6171ℓ	6,384ℓ	外気流入などの呼びかけの強化
	LPG	143kg	178kg	湯沸かし器の温度を低めにした
	kg-CO ²	44,842	49,202	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ²	92,027	100,989	目標達成
一般廃棄物の削減	kg	10079	注視・測定	完全分別の呼びかけ
産業廃棄物の削減	kg	161720	注視・測定	完全分別の呼びかけ
水使用量の節約	m ³	383	446	節水の呼びかけ
事務用品のグリーン購入		70%	積極的購入	積極的に購入している
製品への環境配慮		15件	15件	

(7) 環境経営計画の取り組み計画結果と評価

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・ 室内不在時消灯	◎	<p>目標値達成した</p> <p>本社・西南工場全館LED化した為電気使用量の削減につながった。</p> <p>5S活動によって生産性を上げ、製品1枚にかかる時間を少なくしていく。</p> <p>引き続き節電の呼びかけをおこなっていく</p>
・ 昼休憩時消灯	◎	
・ 使用外のIT機器の電源OFF	○	
・ 冷房温度28℃設定	◎	
・ 暖房温度20℃設定	◎	
・ 外気の室内取り込み	◎	
・ エアコンフィルター清掃	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・ エコドライブ教育	△	<p>目標達成。</p> <p>これからも1way輸送などの無駄走りが無くなるよう徹底していく</p>
・ 法定速度遵守	○	
事業系一般廃棄物、事務所内廃棄物の削減		
・ 廃棄物再利用	◎	<p>コピー紙の裏紙使用など、再利用を徹底していく。</p> <p>業務で排出される材料端材をコピー紙や別のものに再利用する</p>
・ コピー紙裏紙使用	◎	
・ 廃棄物分別徹底	◎	
産業廃棄物の削減		
・ 分別の徹底	◎	<p>5S活動による整理をすすめているので排出量は多くなっている。</p> <p>材料端材など使えるものは再利用していく。</p>
・ 資材の再利用、リサイクル化	◎	
・ マニフェスト管理徹底	◎	
・ 段ボール、白上質紙100%リサイクル	◎	
節水		
・ 節水の呼びかけ	○	<p>目標達成。</p> <p>節水型トイレに変更したこともあり水使用量が削減された。</p> <p>これからも節水を呼び掛ける。</p>
・ 水資源の有効活用	○	
グリーン購入		
・ グリーン製品の購入	○	<p>事務用品の購入時にグリーン製品か確かめて購入している。</p> <p>RoHS対応品も確かめて購入する</p>
製品への環境配慮		
・ 省エネ商品販売	○	<p>段ボール製パレットも順調に出荷している。</p> <p>製品のキズ防止のためのあて紙などに製品材料端材を利用している。</p>
・ 再生資源の積極的利用	○	
・ 材料端材の活用	○	
作業時のエコ活動		
・ 小集団活動		
・ 作業手順見直し	○	<p>5S活動を進め、現場全体が広く使えるようになってきている。</p> <p>台車も上手く使い半製品の移動時間などを減らしていく。</p> <p>作業効率を上げることで1つの製品に対する時間を減らすと、CO²削減になることを社員全員で共有し実行してい</p>
・ 作業時間短縮	○	
・ 5S活動（特に整理・整頓）	◎	
社会貢献		
・ 月1回の社内外のクリーン活動	○	<p>社内外のごみ拾いや草取りを定期的に行っている。</p>

(7) 次年度の環境経営目標

	項目	責任部門 責任者	単位	2019事業年度	2020事業年度	2021事業年度
省エネによる 削減	電力使用による二酸化炭素排出量の削減	工場・事務所 上條工場長 藤牧工場長	kg-CO ²	44210	43989	43856
	原単位目標			140.1	139.4	130
	(kg-CO ² 排出係数は中部電力2018年度0.452を採用する)					
削減	車両燃料使用による二酸化炭素排出量削減	各運転手 沖	kg-CO ²	28890	28854	28666
	灯油・プロパンガス使用の二酸化炭素排出量削減	工場・事務所 唐沢・上條・樋本	kg-CO ²	15718	15639	15592
削減	事業系一般廃棄物 事務所内廃棄物	総務部・工場 山中・坪田・樋本	kg	注視・測定	注視・測定	注視・測定
	産業廃棄物	工場 唐沢・樋本	kg	注視・測定	注視・測定	注視・測定
節水	水使用量削減	工場 宮本・樋本	m ³	383	381	379
	事務用品のグリーン購入	総務部 市川	%	積極的購入	積極的購入	積極的購入
	製品への環境配慮	工場 上條工場長・清沢 藤牧工場長	件	15	15	16
削減	化学物質使用量の削減 環境対応品への切り替え 生産性向上のための 使用材料変更	工場 上條工場長 藤牧工場長		注視	注視	注視

(7) 次年度の環境経営計画

目 標	目標値	活動内容	担 当
電力使用量の削減	46949 kg-Co ²	1)使用外のIT機器電源OFF 2)エアコン(冷房28℃、暖房20℃) 3)外気の室内取り込み 4)エアコンフィルター清掃 中期目標 5)自動点灯装置の設置	本社・西南 工場長 下澤専務
ガソリン使用量削減 軽油使用量削減	2544 ℓ 8912 ℓ 28899 kg-Co ²	1)輸送経路の改善 2)エンジンオイルの定期交換 3)法定速度遵守 4)空車回送時に一声運動 中期目標 5)車輛購入時には省エネ型への導入	山中・沖 各運転手
灯油・プロパンガス使用量削減	15718 kg-Co ²	1)暖房時、室外気の流入防止対策 2)給湯器の温度を高くしすぎない	上條 唐沢
事業系一般廃棄物排出量削減	注視・測定 kg (前年度) 10079 kg	1)製品端材をコピー紙に使用 2)コピー紙裏紙使用	各現場 事務
産業廃棄物排出量削減	注視・測定 kg (前年度) 161720 kg	1)廃棄物の分別徹底 2)マニフェスト管理徹底 3)再使用・再利用・節約に心掛ける 4)資材の再利用、リサイクル化 1)段ボール、白上質紙完全分別 2)古紙100%リサイクル 3)上質紙100%リサイクル	大下 山中 各現場 上條
水資源の節約	383 m ³	1)節水の呼び掛け 2)水資源の有効活用	全員
グリーン購入	その都度		事務
社会貢献	月1回活動	社内外のクリーン活動	全員
5Sによる作業時間の短縮化 5Sによる作業の効率化 5Sによる作業場所の拡充	5S活動	整理整頓をおもに毎月活動	全員
小集団活動による各現場の 問題点をなくし、作業効率UPにつなげる	月1回の会議	各課の代表者が集まり活動の報告 問題点があれば解決 作業の効率UPになることを出しあう	各課代表
非常事態訓練			坪田
化学物質使用量の削減		環境対応製品への見直し	本社工場長 西南工場長
活動状況のチェック(3ヶ月毎に実施)			上條

(8) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果ならびに違反、訴訟等の有無法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
騒音規制法	敷地境界線上の騒音測定（コンプレッサー、プレス機）
振動規制法	敷地境界線上の騒音測定（コンプレッサー、プレス機）
廃掃法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、金属くず、廃油）
消防法	危険物保管の指定数量以上の許可（灯油、潤滑油）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去5年間ありません。

■ 全体の評価と見直し（A c t）

(9) 代表者による全体の評価と見直し

① 全体的な評価

エコアクション21の取組みが始まって13年経過した。
エコアクションを続けてきている中で、省エネ・省資源・廃棄物分別といったエコ意識は社員全員で活動が出来てきているが、活動結果として数字では出にくくなってきている。
今事業年度も5S活動に力を入れてきた。
毎月1回の小集団活動で出された問題点や改善点などを見直していく中で生産性の向上を今年度も継続して行く。
5S活動から環境経営を良くしていくことが引き続きの目標である。
職場環境が良くなることにより業務の効率も改善され”時間のエコ”につなげていくことも大切である。

② 電力使用量削減目標達成

電力使用量が目標達成した。
仕事量に変化により電力使用も変わっていくが、運転していない機械の電源は切るなどよりいっそうムダなことは無いよう取組を進めていく。
本年1月に本社・西南工場の全館の蛍光灯をLED化した。
前年比較で60～70%の使用量削減になった。
これに甘んじることなく毎日の活動を続けていく。

LED化による電気使用量が少なくなったため中期計画の見直しをした。
エコアクション21 2017年版になり経営という言葉が追加された。
毎日の活動で環境も経営も上向きにしていけるよう社員全員で頑張っていきたい。